

福山医療センター



福山医療センター



【施設概要】

当院は、1896（明治 29）年に広島で創設された歩兵第 41 連隊が 1908（明治 41）年に福山に転営し、併せて戦傷者の治療のため、福山衛戍（えいじゅ）病院として創設されました。その後 1937（昭和 12）年に福山陸軍病院、1945（昭和 20）年に国立福山病院（230 床）に改称され、1966（昭和 41）年に現在地に移転 350 床（一般 209 床、結核 51 床、伝病 50 床）となりました。2004（平成 16）年には、独法化され福山医療センターとなり、救急輪番、へき地医療、母子医療、エイズ、感染症、がん治療など幅広く地域の中核病院としての役割を担っています。

2009（平成 21）年からは病棟等建替工事着工し 2017（平成 29）年に外来管理診療棟工事完了し新病院が完成しました。昨年には、地域がん診療連携拠点病院（国指定）認定のほか病院機能評価認定病院となりました。

【放射線科】

放射線科は、技師 19 名（育休 1 名）で多忙な業務を行っています。また、診断医 3 名、治療医 2 名、看護師 2 名、事務助手 5 名が在籍しています。診断部では一般的な装置に加えて MRI（3.0T）、PET-CT、マンモトーム、結石破碎、また治療部では広島県東部地区で唯一、外部照射（IMRT,IGRT）内部照射（IGBT）に対応しています。

【地域情報】

福山市は、現在、人口約 46 万 5 千人、観光名所としては鞆の浦、福山城でしょうか。鞆の浦は、日本で最初の国立公園に指定され瀬戸内海を代表する景勝地で、映画やドラマのロケ地にもなっています。福山城は、新幹線のホームから間近に見える全国的にも珍し

い城です。また、ばらの町としても知られています。戦災で荒廃した街に市民がばら苗を植えたのが始まりだそうで、ばら公園には、280種 5500株のばら、街全体では、100万本のばらが咲き誇ります。5月中旬には、ばら祭が開催されます。珍しいのが、広島カープとコラボした車のナンバープレートがありますので、カープファンの方はぜひ探してみてください(笑)。



出典：福山市ホームページ